



進路だより

令和4年度

12月号

令和4年12月8日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

(文責 高橋正)

●●3年生の「進路希望状況」と合格・内定状況●●

令和4年11月30日 現在

		大学	短大	専門学校	就職	その他	合計
希望者	男子	8人	0人	22人	25人	0人	55人
	女子	8人	5人	47人	19人	3人	82人
	全体	16人	5人	69人	44人	3人	137人
	割合	11.7%	3.6%	50.4%	32.1%	2.2%	
合格・内定者		0人	1人	62人	35人	0人	

現3年生の「進路希望状況」は、昨年度と似た傾向を示しています。若干ではありますが、専門学校希望の割合が増えています。

さて、令和5年4月新卒入社の就職選考が9月16日(金)から解禁になり、就職希望者44名のうち35名に内定通知が届いています。11月末現在の就職内定率は79.5%です。

就職試験もコロナ禍のため「オンライン面接」が想定されましたが、県内受験者はすべて対面での面接となりました。ただし、面接対策は一朝一夕には行きません。早い段階での情報収集や面接練習、そして日々の諸活動に能動的に取り組んでいく必要性を強く感じています。



専門学校進学希望者69名のうち62名(進学決定率89.8%)に合格通知が届いています。大学・短大の合格発表は11月以降となっているため、11月末現在の大学・短大の合格者は総合型選抜で受験した1名のみです。

●●「AO入試」「総合型選抜」●●

10月よりAO入試(専門学校)と総合型選抜(大学・短大)が始まっています。この時期の入試は2学期中間試験と入試の日程が重なります。そのような状況もあらかじめ想定し、AO入試や総合型選抜での受験を希望する生徒は、早期から計画的な入試準備が必要です。大学・短大の総合型選抜は、「学力を問わない」AO入試から「学力を問う」入試に変わりました。プレゼンテーション入試を実施するところも増えていて、物怖じをしない、人前でしっかり話ができるなどの素養が試されます。授業中に指名されたら大きな声ではっきりと受け答えをする、発表のある授業では、聴いている人を意識して堂々と伝えるなど、日頃からの心かけを大切にしてください。



社会系学部では、世界や社会の課題について広く関心を持ち自分自身の考えを持つことが求められ、理系や文学・芸術系の学部では、その分野の関心・意欲や専門的知識が高いレベルで求められます。世の中の動向にも関心を持つ習慣を身に付けてください。



また、部活動での顕著な実績も評価されます。部活動に加入し、目標を立てて、目標達成に向けて精一杯努力してください。

大学に進学したいけれど校内の推薦基準に届かないから、基準のない総合型選抜にしようなどという安易な気持ちでは、特に大学・短大の合格を得ることは難しいです。総合型選抜を目指す人は、1、2年生のうちから、学びたい分野をできるだけ早期に決め、実力をつけることが求められます。

●●「学校推薦型選抜」●●

11月からはよいよ大学の「学校推薦型選抜」の出願が始まりました。この学校推薦型選抜に「指定校制」と「公募制」があり、出願するにはまず下記に示した校内の推薦基準を満たす必要があります。評定平均だけでなく、欠席・遅刻・早退もその対象になります。

今年度の学校推薦型選抜スケジュール

願書受付	11月1日～
合格発表	12月1日～

本校の推薦基準は次の通りです。評定平均の推薦基準は、平均の評定平均値を基に設定しています。授業に真面目に取り組んでいれば、手が届かないものではありません。

進学を希望する生徒は、1・2年生はしっかり頭の片隅に入れて基準を満たせるよう、意識して学校生活を送ってください。

推薦基準

①指定校推薦

- ア 欠席日数が3年間を通して10日以内であること。
- イ 遅刻・早退の合計が3年間を通して10回以内であること。
- ウ 3年間、特別指導を受けていないこと。
- エ 原則として3年間の評定平均が3.5以上であること。

②公募制推薦

- ア 欠席日数が3年間を通して20日以内であること。
- イ 遅刻・早退の合計が3年間を通して20回以内であること。
- ウ 3年次に、特別指導の対象となる問題行動がないこと。
- エ 原則として3年間の評定平均が3.3以上であること。